

第8回 竹原市子ども・子育て会議 議事録

平成27年3月25日（水）18：30～19：40
竹原市役所3階 第1・第2委員会室

協議事項

（1）竹原市子ども・子育て支援事業計画（案）について

事務局 資料説明

会長 ただいまの説明した事項について、何か質問はあるか。

A委員 4Pの⑥に妊娠・出産・育児の切れ目のない支援の視点とあるが、産院がない中で、どのように支援を進めるのか。大変なことだとは思いますが。

事務局 確かに市内に産科分娩が無い状態である。支援としては、様々な制度を創設しており、それを継続・充実させる。
医師については、県でも育成の取組をしており、市もその取組に参画している。医師会と連携して、できる事からやっていくスタンスである。実現に向けた取組を行っていきたい。

A委員 明るい竹原市のためにも、是非よろしくお願ひしたい。

副会長 まさに今の意見の通りで、産科医がいないということが問題になっている。取組自体は継続して行っているという考えでよいか。

事務局 市内外医師会との連携や広島市との連携、市長会を通して国への要望など、着実に取組を続けていく。支援自体もあわせて進める。

B委員 ワークライフバランスの件で、働きやすいのは良いが、具体的なアクションについて聞かせてほしい。

事務局 76Pの目標5に事業者や労働者のへの啓発・広報について記載している。また、一般事業主・特定事業主行動計画についても引き続き進める。

- C委員 産科医に関しては県内でも課題となっている。庄原三次地区の補充が精いっぱいだった。検討はされているが、一朝一夕ではなんともならない。産科が増えれば人口が増えるともいわれるが、人口が増えれば産科も増えるということがある。全体人口を増やすことを行政にお願いしたい。
- D委員 働いて3人の子どもがいる方の話では、保育園に預けている間は働きやすい。しかし、小学校にあがると、児童クラブに入れなため、働きにくくなる。児童クラブは6年生までの受け入れとなつてはいるが、現状では定員によってやはり3年生までの受け入れとなっている。施設等の見直しを検討して受け入れられるようにしてほしい。
- 事務局 超過していることは理解している。特に竹原西が問題である。2月の募集時点でわかつていたため、教育委員会と話し合うなど対策を練っている。
- E委員 この計画はどのような形で配布されるのか。
75Pにある防犯灯の設置への補助金とはどのような形で実施されているのか。
忠海中では通学路が暗く心配である。
- 事務局 計画概要版は全戸配布となっている。計画自体は関係機関や民生・児童委員に配布し、HPでPDFを公開することとなる。
街路灯については、自治会単位で設置補助をしている。
- F委員 通学路の安全性については、点検等を進めて安全確保に努めている。

— 計画承認 —

(2) その他

- 事務局 資料1説明
- 会長 ただいまの説明した事項について、何か質問はあるか。
- G委員 1号認定の定員を縮小したが、働く方のニーズの高まりを感じてのことである。小学校の放課後児童クラブはどうなるのかなど、働きたい方の不安もあり、保護者からは日曜・祝日も開設して欲しいなどという声もあった。これからのこの計画で柔軟に検討していくべきだと考えている。

来年度以降特色のある子育て支援のためにも、28年度予算に向けてしっかりと会議を開いてほしい。

事務局 今後の会議日程としては、この会議が点検評価の役割を担うため、年一回程度での開催を考えている。

E委員 1号と2号の子どもがこども園で一緒に生活する中で、どのような違いがあるのか。帰る時間やお昼寝など、具体的な生活の流れがわからないので資料などがあれば提供してほしい。

副会長 保育の内容については、1号も2号も変わりはない。保育時間が異なるだけで、短時間では給食がないが、給食費を払えば全く同じように出る。

以上